

令和
7年度

日本海学講座

—海のちから、人のちから。—

受講
無料

第2回

『紀行文学と日本海—作品と資源をたどる—』

講師：同志社女子大学表象文化学部

准教授 宮本 明子 氏

日時：令和7年11月8日（土）10:00～11:30

場所：富山県民会館401号室

申込
締切
11月6日
（木）

第3回

『日本海をめぐる中古車貿易の様相』

講師：富山高等専門学校国際ビジネス学科

教授 岡本 勝規 氏

日時：令和7年11月29日（土）10:00～11:30

場所：富山県民会館611号室

申込
締切
11月27日
（木）

第4回

『日本海側の縄文貝塚』

講師：（公財）富山県文化振興財団

町田 賢一 氏

日時：令和7年12月13日（土）14:00～15:30

場所：高岡市生涯学習センター503研修室

申込
締切
12月11日
（木）

日本海学推進機構（富山県多文化共生推進室内）

TEL:076-444-3156 E-mail:adm@nihonkaigaku.org

FAX:076-444-9612 HP:https://www.nihonkaigaku.org/

お 申 込
問 い 合 わ せ

令和
7年度

日本海学講座

—海のちから、人のちから。—

第2回『紀行文学と日本海—作品と資源をたどる—』

古来、多くの作品の舞台となり、創造の場となってきた日本海および沿岸の魅力を考えます。

『おくのほそ道』では、日本海および沿岸に関連する俳句が、作家や批評家、旅行者の目を通して、まさにさまざまに読み継がれてきました。読解のおもしろさを生む日本海および沿岸の魅力について、本文を参照しながら、皆さんと検討します。

第3回『日本海をめぐる中古車貿易の様相』

日本からの中古車輸出台数は過去10年、常に年間100万台を越えています。日本の乗用車メーカー別輸出台数と比較すれば、第2位のメーカーに匹敵するほどの大きな規模です。この中古車輸出においてロシアは長年、主要な輸出先となっています。

本講座では日本海をめぐる中古車貿易の様相を、伏木富山港などの統計と報道資料の分析を通じて紹介します。また、それらの貿易によってもたらされた港湾周辺地域の変容についても触れます。そして、港を通じた富山とロシアとのつながり、世界とのつながりを皆さんと考えたいと思います。

第4回『日本海側の縄文貝塚』

日本海側の縄文貝塚は太平洋側のそれに比べて極端に少ないことが古くから言われています。その理由として真っ先にあげられるのは、日本海は太平洋に比べて潮の満ち引きが非常に少なく、貝類の捕獲（潮干狩り）が困難であることが大きな原因とされていますが、この論理は果たして、本当なのでしょうか。

この問いに答えるべく、貝塚の立地やこれまでの発掘調査事例について提示し、分析します。さらに、富山市小竹貝塚の調査成果を紹介し、日本海側の縄文貝塚のあり方について考えてみます。

申込方法

下記申込フォームからWeb申込いただくか、メール、電話、またはFAXにより、以下を明示のうえ、下記までお申し込みください。

①講座名「第2（3・4）回日本海学講座」

②氏名

③ご連絡先 電話番号（日中に連絡可能なもの）またはE-mailアドレス



申込フォームはこちら

日本海学推進機構（富山県多文化共生推進室内）

お 申 込
お 問 い 合 わ せ

TEL:076-444-3156

E-mail:adm@nihonkaigaku.org

FAX:076-444-9612

HP:https://www.nihonkaigaku.org/